

KINJO MIND

KIND

Kinjo
University
2015.10
No.21

後援会 活動報告

平成27年度 役員会・総会・学部全体説明会・相談会 開催報告、
平成27年度 役員・運営委員紹介、平成26年度 決算・平成27年度 予算、
平成27年度 金城大学 学部・学科構成図一覧、
平成26年度 金城学園 財務概要

大学行事

平成27年度入学式、新入生歓迎会、
新入生合宿研修、クラブ・同好会代表者研修会、
第40回金城祭

平成26年度卒業生の進路結果

トピックス

大学院・看護学部開設、金城学園110周年記念式典・祝賀会、
公開講座、北國健康生きがい支援事業、
ゆうがく広場／悠遊健康サークル

新会長就任挨拶

新任・退任教職員紹介

行事案内

保健・医療・福祉創造フォーラム開催案内、
金城大学後援会 地域別説明会・相談会開催案内

金城学園の建学の精神・金城大学の設立の理念など

後援会 活動報告

平成
27年度

役員会・総会・学部全体説明会・相談会 開催報告

今年度も、6月20日(土)10時より、本学社会福祉学部棟及び看護学部棟にて、平成27年度役員会及び総会、午後から学部全体説明会・相談会を開催しました。

午前中の役員会は、加藤真一理事長の挨拶に始まり、1.平成27年度役員人事、2.平成26年度事業報告及び決算報告、3.平成27年度事業計画及び予算が審議され、いずれも全会一致で承認されました。その後、開催された総会には、158人の保護者の皆様にご参加いただき、半谷静雄学長の



挨拶に続いて、今年度新たに就任されました高松機械工業株式会社社長の高松喜与志会長の

挨拶がありました。総会では、役員会と同議題についての提案、審議がなされ、いずれも全会一致で承認されました。総会後には、「大学からのお知らせ(学園、教職、就職、海外研修)」が引き続き行われ、本学の現状等について、保護者の皆様にご説明・ご案内する機会となりました。

その後、午後より行われる学部全体説明会・相談会会場に分かれ、昼食を取っていただきました。なお、看護学部の保護者の皆様には、「大学からのお知らせ」が終了後、看護学部棟にご移動いただき、看護学部棟内の昼食となりました。

午後に入り、学部全体説明会・相談会にも、3学部合計で184人の保護者の皆様のご参加があり、それぞれの資料に基づき学外実習や国家試験対策、就職支援状況などについての説明が行わ



れました。

当日は、お忙しい中でのご参加、本当にありがとうございました。引き続き、金城大学後援会の諸活動に対してますますのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



平成27年度 役員・運営委員紹介

(敬称略)



役員

- 会長** 高松 喜与志
- 副会長** 東田 勝、坂野 正弥
- 会計監事** 中田 和美、森山 芳行
- 幹事** 北潟 克輔、犬丸 敏康、丸尾 朝之、東 知宏、松山 哲也、角越 睦

運営委員

- 4年生** 長田 敏昭、川田 博輝、柴田 美智代、川北 邦介、青山 信久、浮田 美由貴
- 3年生** 川岸 義則、坂東 慶洋、杉森 久英、畠林 美佳、金田 明子、庄田 精一
- 2年生** 古嶋 光夫、紙井 ひとみ、宮本 芳弘、高戸 勇一、成正照、中江 浩史、大森 誠、村田 外志子
- 1年生** 佐藤 志保、山崎 勝彦、井伊 博一、丹羽 紀代美、尾名池 賢一、南 ゆかり、川淵 五十鈴

平成26年度 決算・平成27年度 予算

(単位：円)

収入の部	平成26年度決算	平成27年度予算
会 費	14,805,000	16,335,000
利 息	1,060	1,394
雑 収 入	10,000	0
前年度繰越金	2,638,839	1,511,106
合計	17,454,899	17,847,500

(単位：円)

支出の部	平成26年度決算	平成27年度予算
学生活動支援費	4,987,190	5,000,000
就職・教育活動支援費	5,077,537	5,200,000
会員研修費	300,000	300,000
研究活動支援費	725,760	800,000
会 議 費	526,157	700,000
通 信 費	425,845	600,000
慶 弔 費	310,000	350,000
事務費負担金	500,000	500,000
広 報 費	896,000	900,000
雑 費	110,344	200,000
卒業記念品代	984,960	1,000,000
特別会計繰入金	1,000,000	1,000,000
同窓会交流パーティー開催補助費	100,000	--
学園110周年記念寄付金	--	1,000,000
予 備 費	0	297,500
合計	15,943,793	17,847,500

特別会計

(単位：円)

収入の部	平成26年度決算	平成27年度予算
特別会計繰入金	1,000,000	1,000,000
利 息	200	399
雑 収 入	0	0
前年度繰越金	1,000,000	2,000,200
合計	2,000,200	3,000,599

支出の部	平成26年度決算	平成27年度予算
予 備 費	--	3,000,599
合計	--	3,000,599

※(収入の部)合計17,454,899円-(支出の部)合計15,943,793円
=1,511,106円を次年度繰越金とする。

平成27年度 金城大学 学部・学科構成図 一覧



平成26年度 金城学園 財務概要

消費収支計算書

(単位：千円)

消費収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金	2,393,921
補助金	801,189
その他	229,565
基本金組入額	-558,598
消費収入の部(合計)	2,866,077

消費支出の部	
科 目	金 額
人件費	2,128,418
教育研究経費	782,504
管理経費	435,852
その他	30,912
消費支出の部(合計)	3,377,686
当年度消費支出超過額	511,609

貸借対照表

(単位：千円)

資産の部	
科 目	金 額
固定資産	9,893,171
有形固定資産	9,433,347
その他の固定資産	459,824
流動資産	2,424,121
資産の部(合計)	12,317,292

負債・基本金・消費収支差額の部	
科 目	金 額
固定負債	1,629,086
流動負債	1,045,975
基本金	12,963,120
消費収支差額	-3,320,889
負債・基本金・消費収支差額の部(合計)	12,317,292

※ 詳しくは、金城学園ホームページ(<http://www.kinjo.ac.jp/>)をご覧ください。

大学行事

新入生歓迎会

4月4日

4月4日(土)に新入生歓迎会が開催されました。学友会長が新入生に対して歓迎の挨拶を行い、ダンス部による歓迎公演、クラブ・同好会紹介、学内施設の見学を目的としたウォークラリー、豪華景品を用意したビンゴ大会を行いました。当日は、例年に比べ参加者が多く盛大に開催することができました。新入生については、先輩と交流ができたことで不安が和らぎ充実した一日となりました。



平成27年度入学式

4月1日

4月1日(水)に、第16回入学式が白山市松任文化会館にて挙行され、新設の大学院リハビリテーション学研究科5人、看護学部93人、既設の社会福祉学部141人(うち編入学生5人)、医療健康学部116人の総計355人が入学し、大学生活の新たなスタートを切りました。



加藤真一理事長が告辞、半谷静雄学長が「初心を忘れず謙虚な気持ちで勉学に励んでほしい」と式辞を述べ、続いて祝辞が披露されました。最後に、新入生を代表し、看護学部の佐藤星名さんが「第1期生としての誇りを持ち、同じ夢を持つ仲間と共に有意義な学生生活を送りたい」と抱負を述べました。式には、多くのご来賓、保護者の皆様にご臨席賜りました。

クラブ・同好会代表者研修会

5月23日

5月23日(土)に、各団体の代表者を対象としたクラブ・同好会代表者研修会が開催されました。クラブ活動支援費申請や活動報告等の書類作成



方法についての説明が行われた後に、参加者全員で加賀笠間駅から本学までの通学路の清掃を行いました。また、昼食を取りながらクラブ・同好会の活性化及び、活動に関して工夫している点についての意見交換を行いました。それぞれの団体で抱える活動に関する問題について話し合えたことでより一層絆を深めることができました。

新入生合宿研修

4月17~19日

いこいの村能登半島にて4月17日(金)~18日(土)と18日(土)~19日(日)の2班体制で新入生合宿研修が行われました。今年は新たに看護学部の学生が加わり3学部の学生が、社会に出るための必要なマナーを身につけ、大学生としての自覚と計画を持ち、学生間の交流を図ることを目的とし、交通安全についての講習やスポーツ大会、マナー講座等の研修や交流を行いました。今回の合宿研修を通じて学生



間の交流を深め、福祉・医療・看護それぞれの分野で学ぶための第一歩を踏み出すことができました。

第40回金城祭

10月24~25日

今年度は、「Happy 40(フォト)ring~みんなであげよう幸せの輪~」をテーマに、第40回金城祭が10月24日(土)・25日(日)に開催されました。「ダイスケ」によるゲストラライブ、模擬店、ステージでの各種イベント等の企画が実施されました。両日とも多くの方に足を運んでいただき、大盛況のうちに幕を閉じることができました。



平成26年度 卒業生の進路結果

社会福祉学部

社会福祉専攻

平成27年5月1日現在

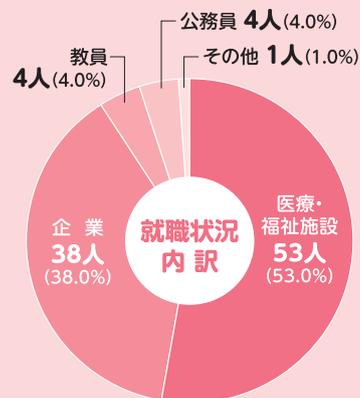
職種別	
介護職	44人
支援員	11人
相談援助職	2人
医療ソーシャルワーカー	5人
看護助手	1人
営業職	15人
販売職	7人
事務職	7人
接客	1人
教員	4人
警察官	1人
自衛隊	1人
生産技術職	1人
計	100人

医療・福祉施設	
高齢者施設	33人
障害者施設	9人
病院	9人
社会福祉協議会	2人
計	53人

企業	
医療・福祉	10人
卸売・小売業	11人
運送運輸業	3人
金融業	1人
不動産業	3人
複合サービス事業	1人
宿泊業・飲食業	2人
製造業	3人
情報通信業	2人
サービス業	2人
計	38人

教員・公務員・その他	
教員	4人
公務員	4人
その他	1人
計	9人

就職率	99.0%
卒業生	107人
就職希望者	101人
就職者	100人



就職率99.0%=
就職者数100人÷就職希望者数101人×100

社会福祉学部

こども専攻

平成27年5月1日現在

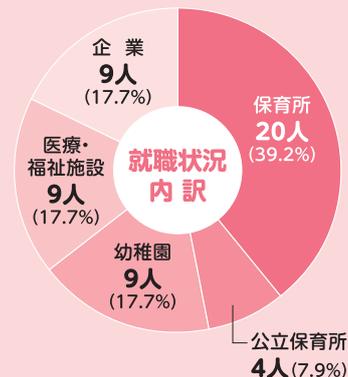
職種別	
保育士	26人
幼稚園教諭	9人
介護職	1人
支援員・指導員	5人
相談援助職	2人
スポーツインストラクター	1人
営業職	3人
販売職	1人
接客職	2人
事務職	1人
計	51人

保育所・幼稚園・医療・福祉施設	
保育所	20人
幼稚園	9人
児童養護施設	1人
児童福祉施設	5人
高齢者施設	1人
病院	2人
計	38人

企業	
卸・小売業	3人
教育学習支援業	3人
生活関連サービス業	1人
技術サービス業	1人
製造業	1人
計	9人

教員・公務員	
公立保育所	4人
計	4人

就職率	98.1%
卒業生	52人
就職希望者	52人
就職者	51人



就職率98.1%=
就職者数51人÷就職希望者数52人×100

医療健康学部

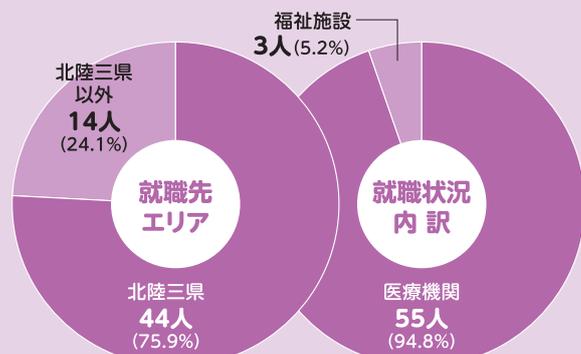
理学療法学科

平成27年5月1日現在

職種別	
理学療法士 (大学院進学者1含)	59人
計	59人

医療・福祉施設		進学	
医療機関	55人	大学院	1人
福祉施設	3人	計	1人
計	58人		

就職率	100.0%
卒業生	61人
就職希望者	58人
就職者	58人
進学者	1人



就職率100.0%=
就職者数58人÷就職希望者数58人×100

※医療健康学部 作業療法学科は平成25年度開設のため卒業生なし

トピックス

大学院・看護学部開設

今年4月に、大学院（リハビリテーション学研究所）、看護学部看護学科が開設されました。大学院では、リハビリテーション領域のリーダーとなる高い専門性をもつ人材の養成を



目指し、就業しながら学べる昼夜開講制・長期履修制度を取り入れ、社会人5人が入学しました。看護学部は松任の中核病院に隣接する立地に新たなキャンパスを設け、自ら学ぶ少人数教育に最適な環境が整備され、93人の1期生が入学しました。

金城学園110周年記念式典・祝賀会

金城学園は、7月4日、創立110周年記念式典を挙行し、1500人を超える関係者が110年の節目を祝いました。

午前、会場となった石川県立音楽堂では、開式に先立ち、金沢に本拠を置き日本で最初の常設プロフェッショナル室内管弦楽団として広く全国に知られている「オーケストラアンサンブル金沢」による弦楽四重奏が披露されました。

記念式典のはじめに、加藤真二理事長が、1904（明治37）年に加藤廣吉・せむ夫妻によって創設された金城遊学館を淵源とする学園の建学の精神・遊学の精神の涵養と良妻賢母の育成に基づき110年に及ぶ教育実践を振り返り、今後も、建学の精神を継承発展させ、時代の要請に応える学園の創出に努める旨の式辞を述べた後、文部科学省義本博司大臣官房審議官（高等教育局担当）、谷本正憲石川県知事（代読）・黒

野嘉之総務部長）及び山田憲昭白山市長から祝辞が寄せられました。



当日の17時からは、金城大学大学院リハビリテーション学研究所及び看護学部開設並びに加藤晃学園長回顧録出版記念を兼ねた祝賀会を金沢市内のホテルで開催しました。学内外から270人が参集した祝賀会は、金沢工業大学学園長・総長で日本私立大学協会副会長の黒田壽二氏が乾杯の首頭を務め、東京五輪・パラリンピック大会組織委員会会長として大会成功に向けて東奔西走中の森喜朗元内閣総理大臣をはじめ、県選出の全国会議員のほか、石川県副知事、白山市長、野々市市長、県議会・市議会議長が来賓として出席して祝辞を述べました。

なお当日午後、義本博司大臣官房審議官（高等教育局担当）を講師に迎えて、「未来を担う学生への期待」と題して創立110周年記念特別講演会も開催し、金城大学及び同短大部の学生約300人が聴講しました。

公開講座

5月9日から10月17日（各土曜日、全20講座）にかけ、今年度も短期大学部との共同事業として「金城大学公開講座」を開催しました。大学・短期大学部の教員による高齢化社会に対応した講座や外部講師による体験講座などが行われ、地域の方々を中心に、多くの方が聴講されています。なお、平成28年度も実施を計画していますので、大学・短期大学部ホームページ等をご覧の上、是非ご参加ください。



北國健康生きがい支援事業



北國新聞社との共催で、一般の方を対象とした「看護講演会」「社会福祉講演会」が、北國新聞会館（金沢市）にて開催されました。今年度は7月25日（土）に、看護学部・永山くに子教授による「新しい家族を迎える人々と向かい合った助産師のテーマ」に開催し、多くの聴講者がありました。

ゆうがく広場／悠遊健康サークル

今年度も介護福祉コースによる地域の高齢者の方々との交流を通じたアクティビティ活動として「ゆうがく広場」を、また、医療健康学部による白山市と本学が連携した地域在住高齢者を対象としたマシントレーニング、健康体操などを本学学生と交流しながら行う健康維持・改善講座事業として「悠遊健康サークル」をそれぞれ実施し、地域の方々からもたいへんご好評をいただいています。活動状況等の詳細については、3月発行の第22号に掲載予定です。また、大学ホームページにも掲載されていますのでご覧ください。



新会長就任挨拶

高松機械工業株式会社代表取締役社長 高松 喜与志



日頃より金城大学後援会の活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今年度から会長を務めさせていただきますこととなりまして、高松と申します。保護者の皆様と在學生、大学とのより良い意思疎通を実現する架け橋のような存在になれば幸いです。微力ながら、後援会活動がより活発なものとなるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

さて、会員の皆様におかれましては、在學生たちが本分である学業をしっかり修められるように、そしてクラブ活動など学業以外のさまざまな活動においても、楽しく充実した4年間を過ごせるよう願われているものと思います。

「企業の社長を務める私自身、日頃から若い社員たちには「夢をもって仕事をしなさい」と指導しております。金城大学の学生たちにも「どんな人間になりたいか」という目標を定めて、勉強にも遊びにも計画的に取り組み、かけがえのない学生生活を謳歌してもらいたいと思っています。

後援会活動においては、保護者の皆様のご要望を反映させるべく、大学との意見交換の場を増やしていきたいと考えています。例年開催している総会も、そうした貴重な機会の一つです。できるだけ多くの皆様にご参加いただき、忌憚のないご意見を頂戴することで、より活発で有意義な活動につながっていききたいと思います。

これからも、在學生たちがより良い環境で充実したキャンパスライフを送れるように、産学連携の促進も含めた種々の活動に取り組んでいきたいと考えていますので、会員の皆様には、ますますのご支援・ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

新任・退任教職員紹介

看護学部



永山 くに子 教授(学部長)

●専門分野 母性看護学

●担当科目 看護概論、母性看護学、国際看護論

本年4月に新しく開設した看護学部の学部長として赴任しました。社会の期待に応えられる人材の育成に尽力したいと思います。



曾我 浩之 教授

●専門分野 解剖生理学

●担当科目 解剖生理学、栄養代謝学

ほか

看護を学ぶ皆さんに、基礎としての体のつくり、仕組みを理解してもらえよう、努力したいと考えております。



一ノ山 隆司 教授

●専門分野 精神看護学

●担当科目 精神看護学概論、精神看護論、精神看護学実習、看護学研究法、基礎演習Ⅱ、基礎看護学実習Ⅰほか

白山市に待望の看護学部が開設しました。地域特性を活かし10年後を見据えた看護学教育の質改善に寄与できるよう取り組みます。学生にはやさしさ(優しく・易しく)をモットーにかかわり、思考と行動の結果である成果を期待します。



吉岡 一実 教授

●専門分野 基礎看護学

●担当科目 基礎看護学方法論、看護倫理

昨年新課程設置準備室に赴任し、この4月より看護学部に配属となりました。学生に学ぶことの楽しさを伝えていきたいと思っております。学園の発展に貢献できるように努力する所存ですので、よろしくお願い致します。



新谷 恵子 教授

●専門分野 成人看護学(慢性病看護学、がん看護学)

●担当科目 成人看護学概論、成人看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴほか

看護の受け手がQOLを高めることができるように、人間関係を基盤に提供される専門的知識、医療技術についての教育方法を探究し続けています。



樋貝 繁香 教授

●専門分野 小児看護学、家族看護学

●担当科目 小児看護学概論、小児看護論、小児看護学実習

子どもの無限の可能性や発達の素晴らしさについて、学生の皆さんと考えられる授業を展開したいと思います。

看護学部



藤田 三恵 教授

●専門分野 成人看護学
●担当科目 基礎演習Ⅰ、基礎看護学実習、成人看護論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、成人看護学演習Ⅰ・Ⅱ、成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ、統合実習、卒業研究ゼミⅠ・Ⅱ

よい看護を実践する専門職を育成したいと、早20年近く経とうとしています。将来、自分や家族がこんな看護師に看護してほしいと思えるよう、人としての成長を楽しみに育んでいきたいと思っております。よろしく願っています。



松島 昭廣 教授

●専門分野 小児科学、小児神経学、障害児医学
●担当科目 保健医療概論、医学概論、小児科学

大学、国立病院機構では小児科医療、障害児医療の分野に従事してきました。本学には、非常勤講師として十年余前からお世話になっており、本年4月の看護学部開設と共に着任しました。患者さんから学ばせて頂きました貴重な経験を生かして、心に寄り添い、人明かりとなつて頂ける看護師の育成に、微力ではありますが尽力致す所存です。何卒宜しくお願い致します。



山本 澄子 教授

●専門分野 基礎看護学
●担当科目 基礎看護学演習Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ、看護理論ほか

看護学の根幹を成す看護の基礎部分を担当します。学生のモチベーションアップに努めます。よろしく願っています。



浅見 美千江 准教授

●専門分野 在宅看護学
●担当科目 在宅看護論、在宅看護学演習ほか

高齢化社会を迎え、在宅分野で働く看護職への期待が高まっています。訪問看護ステーションでの経験を活かし、社会から求められる看護師の育成に努めます。



原 元子 准教授

●専門分野 成人看護学
●担当科目 成人看護論Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ、成人看護学演習Ⅰ・Ⅱ

四半世紀余りの臨床では、患者さんや同僚から多くのことを学んできました。その経験を活かして患者さんにとっての困り事に向き合い、学生と共に考え看護の楽しさを伝えていきたいと思っています。



東 知宏 講師

●専門分野 基礎看護学
●担当科目 基礎演習Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学方法論演習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ、看護研究法

これまで培ってきた知識と技術を活かし、学生全員が看護師として巣立つことができるよう努めてまいります。



下田 裕子 講師

●専門分野 老年看護学
●担当科目 高齢者看護学演習、高齢者看護学実習ほか

「より良く生きる」ことが課題の時代に、健康生活を支える看護の役割は重要と認識しています。看護の担い手の成長を助けることに尽力して参ります。



藤川 君江 講師

●専門分野 精神看護学
●担当科目 基礎看護学実習Ⅰ、基礎演習Ⅱ、ボランティア活動Ⅱ、精神看護学演習、精神看護学実習

石川県は初めての地で、新しい学部であり、気持ちを新たに丁寧でわかりやすい授業を心がけていきたいと思えます。どうぞよろしく願っています。



境 美砂子 助教

●専門分野 小児看護学
●担当科目 小児看護論、小児看護学演習、小児看護学実習ほか

1人でも多くの学生に、小児看護の魅力や楽しさ、やりがいを感じられるような授業を心がけていきたいと思っております。ご指導賜りますようお願い申し上げます。



武田 陽子 助教

●専門分野 成人看護学
●担当科目 成人看護(回復期・慢性期)、演習、実習ほか

看護師として臨床経験(病院や介護施設)をもとに、看護の喜びを伝えたいと思います。ご指導のほどよろしくお願い致します。



野上 睦美 助教

●専門分野 基礎看護学
●担当科目 基礎演習Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学方法論演習Ⅱ

基礎看護学では、大学に入りたての1年生、2年生を主に担当します。学生たちの夢と一緒に膨らませていけるよう看護の楽しさを素晴らしさを伝えていきたいです。



伊藤愛 助手
●専門分野 看護

学生にとつて相談しやすい存在であり続けられるよう、努めて参ります。よろしくお願いたします。

河村美芳 助教

医療健康学部



澤俊二 教授(学部長)

●専門分野 地域リハビリテーション、身体障害の作業療法、終末期リハビリテーション

●担当科目 地域リハビリテーション、作業療法教育管理
学、リハビリテーション概論、作業療法評価概論ほか



吉武将司 助手

●専門分野 老年期の作業療法、理学療法
士・作業療法士の教育

●担当科目 検査測定論、作業学ほか

医療施設や介護施設にて得られた経験をもとに、作業療法
の楽しさややり甲斐を伝えていきたいと思ひます。よ
ろしくお願いたします。

社会福祉学部



黒田しげえ 教授

●専門分野 介護福祉学
●担当科目 介護論Ⅰ・Ⅱ、人間の尊厳と自
立、健康論、認知症Ⅰほか

人間は、生涯発達し続ける生き物と信じて、わずかであつても、可能性を見つけ、引き出すことのできる介護福祉士教育に努力したいと思つています。よろしくお願いたします。



村上貴子 助手

●専門分野 介護福祉教育

●担当科目 生活支援技術、介護総合演習

18年間介護の現場と介護福祉士教育に携わつてきました。これまでの経験を生かし、知識・技術、そして介護の「心」を伝えていきたいと思ひます。

職員



島元悟

●所属部署 法人本部

30年間地元の信金で勤務していましたが、本年3月から法人本部で仕事をしています。宜しくお願いたします。



北怜恵

●所属部署 入試広報部

広報活動を通じて、より多くの方々には本学を知つていただくべく日々精進してまいります。よろしくお願いたします。



角越睦
●所属部署 総務企画部

今年、金城大学を卒業し、4月より総務企画部に配属になりました。覚悟をもつて物事に取り組み、自身を育ててくれた本学へ恩返しができるよう、日々努力して参ります。至らない点が多々あるかと思ひますが、よろしくお願いたします。



永原 茉実

●所属部署 教学支援部

今年度4月より教学支援部に配属となりました。学生が充実した学生生活を送り、成長できるようサポートしていきたいと思つております。至らない点があるかと思ひますが、日々精進してまいりますので、よろしくお願いたします。



米村章一

●所属部署 管財部

4月から管財部用務職員として、環境美化のために頑張つております。新参者ですが、よろしくお願いたします。



神谷 豪

●所属部署 入試広報部

6月1日付けで入試広報部に配属となりました。よろしくお願いたします。

退職教職員

社会福祉学部の木谷尚美准教授、事務職員の丹後裕法人本部事務室参事、鍛冶充夫さん(管財部)、大岡秀子さん(学生部)、渡部宏一朗さん(入試広報部)、佐藤優美さん(企画部)、大岡章さん(法人本部)の7人が3月末で退職されました。また、事務職員の濱崎ちひろさん(実習センター)が2月末で退職されました。

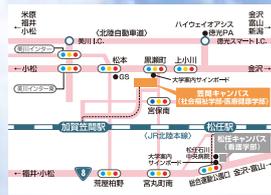
切れ目ない包括的な支援
保健・医療・福祉創造フォーラム

日時 平成27年**11月28日(土)**
12:45~16:00

会場 **金城大学**
社会福祉学部(S)棟(笠間キャンパス)

定員/先着200名 平成27年11月20日(金)17:00必着
※定員に達し次第締め切ります。

申込先/フォーラム実行委員会事務局
〒924-8511 石川県白山市笠間町1200番地(金城大学/笠間キャンパス)
TEL 076-276-4400 FAX 076-275-4316
E-mail:forum@kinjo.ac.jp http://www.kinjo.ac.jp/



※笠間キャンパスは加賀笠間駅から徒歩10分

総合司会 樋貝繁香(看護学部・教授)
12時 開式
12時45分 講演
13時 講演
14時 休憩
14時15分 シンポジウム
15時55分 閉式

テーマ 「住み慣れた地域で共に暮らす人々の健康を考える」
金川克子氏
NPO法人「住み慣れた地域で共に暮らす人々の健康を考える」代表理事、金城大学名誉教授



主催/金城大学、金城大学後援会、北國新聞社
後援/金城大学、石川県保健福祉協会、石川県社会福祉協議会、石川県福祉推進委員会、石川県労働福祉会、石川県理学療法士会、石川県作業療法士会、石川県医師会、石川県歯科医師会、石川県薬剤師会、石川県獣医師会、石川県農業者連合会、石川県看護協会

12月12日

**金城大学後援会
地域別説明会・相談会**

今年度も12月12日(土)に、能登会場、富山会場、福井会場の全3会場にて、地域別説明会及び個別相談会の開催を予定しています。当該対象地

域の保護者の皆様には、本会報誌にご案内及び返信用葉書を同封し送付させていただきます。

金城学園の建学の精神・金城大学の設立の理念など

金城学園	建学の精神	遊学の精神の涵養 何ものにもとらわれず、自由に広く世の中を見聞し、人格を高め磨いていくこと。 良妻賢母の育成 家庭における女性の役割の重要性にかんがみ、周りの人々がより良く幸せに生きるために支えとなる人材を育成すること。
	教育理念	創始者：加藤廣吉・せむ 率先垂範、質素勤勉 二代目：加藤二郎 教育とは 云うてきかす事ではない。して見せる事でもない。している事である。 三代目：加藤晃 教育とは先生と学生の全人格のぶつかり合いの中から生まれてくる学生への影響、それも何らかのよい影響である。
金城大学	設立の理念	明日の福祉社会を先導する福祉のリーダー的存在の養成
	目的及び使命	教育基本法・学校教育法の精神に則り、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道德的および応用的能力を養い、文化の向上および社会の福祉に寄与する人材を育成することを目的とする。(学則第1条)

大学案内・入学試験に関するお問い合わせ

《入試広報部》

フリーダイヤル

0120-276-150

TEL

076-276-5175 (直通)

FAX

076-275-4316

E-mail

nyushi@kinjo.ac.jp